

JIS

コンクリート用化学混和剤

JIS A 6204 : 2026

(JCAA/JSA)

令和 8 年 2 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	鎌田 敏郎	大阪大学
(委員)	岩波 光保	公益社団法人土木学会 (東京科学大学)
	鹿毛 忠継	国立研究開発法人建築研究所
	加藤 佳孝	公益社団法人日本コンクリート工学会 (東京理科大学)
	草野 昌夫	全国生コンクリート工業組合連合会
	古賀 裕久	国立研究開発法人土木研究所
	鈴木 澄江	工学院大学
	谷村 充	一般社団法人セメント協会
	野口 貴文	一般社団法人日本建築学会 (東京大学)
	橋本 麻未	鹿島建設株式会社
	前田 敏也	一般社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社)
	宮田 喜壽	防衛大学校
	丸山 慶一郎	一般財団法人建材試験センター
	水田 真紀	国立研究開発法人理化学研究所
	柳田 直	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (株式会社日東)
	山中 信彦	公益社団法人地盤工学会 (基礎地盤コンサルタンツ株式会社)

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 57.12.1 改正：令和 8.2.20

官 報 掲 載 日：令和 8.2.20

原 案 作 成 者：コンクリート用化学混和剤協会

(〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-5-14 WISE NEXT 新横浜 TEL 045-285-9440)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 田辺 新一)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 鎌田 敏郎)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 種類	3
5 性質	4
6 品質	4
6.1 性能	4
6.2 塩化物イオン (Cl ⁻) 量	6
6.3 全アルカリ量	6
7 試験方法	6
7.1 一般事項	6
7.2 コンクリート試験	6
7.3 塩化物イオン (Cl ⁻) 量試験	12
7.4 全アルカリ量試験	12
8 検査	13
8.1 一般事項	13
8.2 形式評価試験	13
8.3 性能確認試験	13
9 表示	15
10 報告	15
附属書 JA (規定) 化学混和剤中に含まれる塩化物イオン (Cl ⁻) 量の試験方法	17
附属書 JB (規定) 化学混和剤中に含まれる全アルカリ量の試験方法	20
附属書 JC (参考) JIS と対応国際規格との対比表	23
附属書 JD (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	29
解 説	32

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、コンクリート用化学混和剤協会（JCAA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 6204:2011** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

コンクリート用化学混和剤

Chemical admixtures for concrete

序文

この規格は、2017年に第1版として発行されたISO 19596を基とし、国内の実情に合わせるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JCに示す。また、附属書JA及び附属書JBは対応国際規格にはない事項である。

なお、技術上重要な改正に関する新旧対照表を附属書JDに示す。

1 適用範囲

この規格は、コンクリート用化学混和剤（以下、化学混和剤という。）として用いるAE剤、高性能減水剤、硬化促進剤、減水剤、AE減水剤、高性能AE減水剤及び流動化剤について規定する。この規格は、化学混和剤を使用し、実際にコンクリートを製造する際の要求事項、すなわち、コンクリートの配合、練混ぜ、打込み、養生などに関するものを規定するものではない。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 19596:2017, Admixtures for concrete (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS A 0203 コンクリート用語
- JIS A 1101 コンクリートのスランプ試験方法
- JIS A 1103 骨材の微粒分量試験方法
- JIS A 1105 細骨材の有機不純物試験方法
- JIS A 1108 コンクリートの圧縮強度試験方法
- JIS A 1109 細骨材の密度及び吸水率試験方法
- JIS A 1110 粗骨材の密度及び吸水率試験方法
- JIS A 1115 フレッシュコンクリートの試料採取方法